



大好き かたびら

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/katabira>

横浜市立帷子小学校
学校だよりNo.10 1月号
令和3年1月6日
横浜市保土ケ谷区
川辺町65-1
Tel045-335-5896

誰かのため

校長 齋藤 容二

忘れることのできない年となった令和2年(2020年)が終わり、新しい年となりました。今年度ここまで、教育活動や保護者・地域との連携等十分に進められなかった中でしたが、皆様には本校の取組にご理解・ご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

毎朝、私は正門前で、登校してくる子どもたちと挨拶を交わすようにしてきました。子どもたちの様子はというと、自分から目を合わせて挨拶する子、お辞儀しながら挨拶する子、にこっと笑顔を返す子、手を振り返す子、軽くなずく子など様々です。また中には、気持ちはあっても目が合わず声も聞き取りにくい子、友達とのおしゃべりに夢中でそのまま通り過ぎていく子もいます。

12月途中、ある子が自分のランドセル以外に肩掛けのかばんを持って歩いてくるようになりました。聞くと、怪我をして荷物を持つことが大変になった友達の荷物を、代わりに持ってきているとのことでした。毎日、毎日、自分から声をかけて持っていたのだそうです。

同じ頃、あるテレビ番組の中で「赤い糸プロジェクト」という取組が紹介されていました。

発起人の方は、ずっと「自分は誰かのためになっているのだろうか」という思いをもち続けてきたことで、社会貢献のためのNPO法人を立ち上げた方です。その方は昨年、コロナ禍の中で改めて自分自身を見つめ直し、今、人のためにできることは何かを考え、「赤い糸プロジェクト」を始めました。赤い糸1巻きから物々交換を始め、物やサービス等を次々に交換していき、最後は高価なものにつなげることを目指しました。高価なものになったところで換金し、その収益金はさらに新型コロナウイルス拡大によって生活が苦しくなった人を支援するNPO法人に寄付する、という計画を立てたのです。

交換されていった物、サービスは次のようになります。(番組と法人HPより)

・赤い糸 (110円)

- アマビエ コーヒー3セット (8,748円) …その後、コロナ患者受入病院へ寄付
- 漫画制作権 (約50,000円) …その後、客の減っているカフェへ寄付
- 元プロ野球選手によるオンライントーク&現役時代のユニフォーム
- 色鉛筆6本セット(削り器付)×2000セット (300,000円)
…番組内では、この色鉛筆を製造しているインク会社は、「抗菌インク」を製造していたために、今回のコロナ禍で需要が急増し利益が出たため、その利益を還元したいと考え、交換を申し出た。 …その後、幼稚園、小学校へ寄付
- イヤホン&マイク×100個 (498,000円)
- 中古一戸建て10年間無償賃貸権利 (価値7,800,000円) …居住用でなく、社会的事業使用目的のみ
- 棒付き飴270個
- その後、飴(1つ又は複数個)と様々な物、サービスが交換されていった(車や古民家、山等も含まれている)

1つの赤い糸が、様々なものへと広がっていったことに驚かされました。

取組の中で、かかわった方々の思いが語られていましたが、多くの方が「誰かのためになるのなら」という思いを語られていました。「恩送り」という言葉も聞かれました。「よい言葉だな」と感じました。受けた恩を返すのではなく、次の人へつなげていくことで、誰かを思う気持ちがより多くの人に広がっていくのです。また、物や行為の価値とは、値段よりもその物、サービスにおける背景やかけられている思いにこそ、価値があるのだとも思いました。

先に挙げた、友達の荷物を持っていた子のような思い・行為が、次、次と伝わり、つながり、広がっていったらなんて素敵なことでしょう。私たちは子どもたちの小さな行為でも拾い上げ、価値付け、共感の輪を広げていけるようにしていきたいです。

まだまだ厳しい日々が続くことが予想されますが、なりたい自分、自分たち、学校を目指し、日々努力してまいります。令和3年、本年もどうぞよろしくお願いいたします。